

平成30年度工学部第3年次編入学生から改組後の

# 工学部

新学科への編入学になります

創造力、実践力。

国立大学法人



福井大学

機械・システム工学科／電気電子情報工学科  
建築・都市環境工学科／物質・生命化学科／応用物理学科

平成28年4月  
工学部が大きく  
変わります!



## 安全・安心社会の創造のための モノづくり、コトづくり、ヒトづくり

私たちの暮らしを支える科学技術はすべて工学にもとづいており、

工学は人類の豊かな暮らしを創造する学問です。

本学部は安全・安心な社会を実現するための学びを深め、「モノづくり、コトづくり、ヒトづくり」を進めます。

最先端の専門知識や技術を幅広く習得し、

総合的な実践力と高い倫理観を有した高度専門技術者 (IMAGINEER) を養成。

科学技術で世界の人々と協働して夢を描き、地域と世界がともに発展することに貢献できる

「GLOBAL IMAGINEER」を目指します。



平成28年、福井大学 工学部は  
夢を世界でかたちにする技術者を育てるために

# 8 学科から 5 学科へ

高度情報化とともにグローバル化が進み、社会システムの変化がめまぐるしく進行する今日、社会が求める「幅広い知識を持った専門技術者」を育成するため、複数の専門分野を1学科に大きくくりすることで、目指す専門分野の知識を修得するとともに、工学の基礎と関連分野を横断的に学べるよう、本学部は従来の8学科から5学科に再編します。

それぞれの学科では、幅広い知識を身に着けることを目的に、1、2年次に工学の基礎や学科共通の科目を中心に学習します。2年次の終了時には所属コースを決定し、3年次からはコースカリキュラムに沿って学び、専門性を深めます。同時に、他のコース科目を履修することが可能で、専門性に横の広がりを持たせることができます。

平成28年4月～

工学部

機械工学科

電気・電子工学科

情報・メディア工学科

建築建設工学科

材料開発工学科

生物応用化学科

物理工学科

知能システム工学科



## 機械・システム工学科 (155名)

安全・安心な社会の創造および革新的ものづくりに貢献できる技術者

- 機械工学コース
- ロボティクスコース
- 原子力安全工学コース



## 電気電子情報工学科 (125名)

持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という未来社会の基盤を築く技術者

- 電子物性工学コース
- 電気通信システム工学コース
- 情報工学コース



## 建築・都市環境工学科 (60名)

安全・安心な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある技術者

- 建築学コース
- 都市環境工学コース



## 物質・生命化学科 (135名)

安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する実践的の化学系技術者

- 繊維・機能性材料工学コース
- 物質化学コース
- バイオ・応用医工学コース



## 応用物理学科 (50名)

物理の世界を探索し、次世代の技術発展へとつなげる技術者

副専攻

副専攻は大学院工学研究科の入門として、それぞれの学科に所属しながら学ぶことができます。所属する学科の卒業要件とは別に副専攻修了証書が発行されます。

経営・技術革新工学

原子力安全工学

要件を満たせば、卒業研究も実施できます。



創造力、実践力。



国立大学法人  
**福井大学**  
UNIVERSITY OF FUKUI

学務部入試課 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号  
お問い合わせ先: TEL.0776-27-9927 E-mail:g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp  
<http://www.u-fukui.ac.jp>



# 福井大学工学部 3年次編入学試験 地域枠推薦制度の新設

## 地(知)の拠点大学による地方創生

- ・福井県は大学等への進学時に70%が県外に流出し、ほとんどが都市部で就職
- ・福井大学は、県内大学、福井県及び産業界と連携し、地域を志向し活気ある地域創生に貢献できる人材の育成と定着に取り組めます

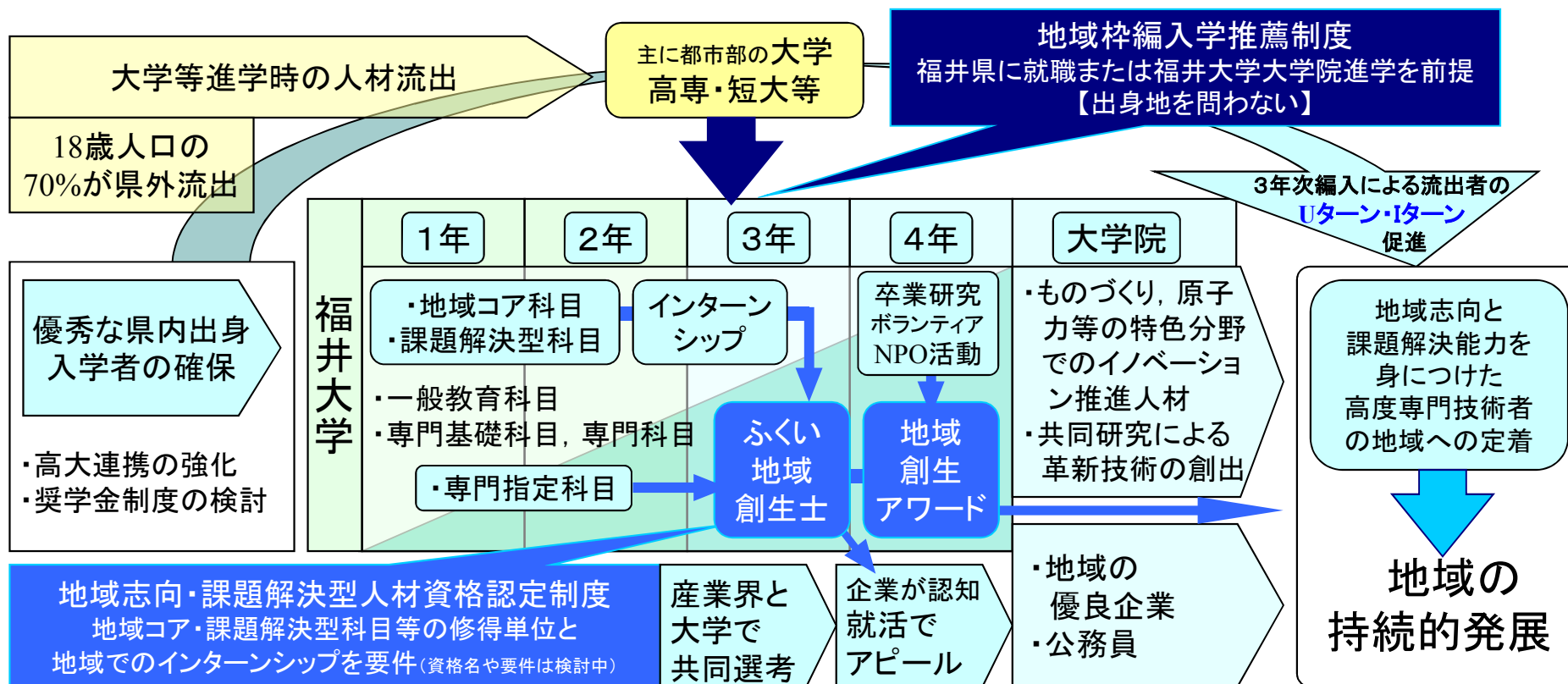
## 地域枠編入制度の新設

都市域流出学生を呼び戻し、地域貢献人材として地域へ定着してもらうことを目的とします

## 出願要件 詳細は募集要項参照

- 1) 出身校の専門が志願学科と同系列の者
- 2) 出身学校長が推薦できる者、またはものづくり、学力、学校・地域活動などで自己推薦できる者
- 3) 福井大学卒業後は、福井県内に就職または福井大学大学院に進学し、地域社会に貢献する意志を有する者(出身地は問いません)

# 地域を志向し地方創生に貢献できる人材養成の取組の一貫



## 福井大学工学部第3年次編入学試験の変更点について

工学部の学部・学科改組後の学年進行に伴う平成30年度からの第3年次編入学試験の変更点

### ● 募集定員

【平成29年度】

学 科	区 分		推 薦 入 試	一般入試	計
	学校推薦	自己推薦			
機械工学科	5名	若干名	4名	4名	9名
電気・電子工学科	5名	若干名	4名	4名	9名
情報・メディア工学科	5名	若干名	5名	5名	10名
建築建設工学科	3名	若干名	7名	7名	10名
材料開発工学科	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
生物応用化学科	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
物理工学科	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
知能システム工学科	若干名	若干名	2名	2名	2名
計	18名	若干名	22名	22名	40名

【平成30年度以降】

学 科	区 分	推 薦 入 試			一般入試	計
		学校推薦	自己推薦	地域貢献枠		
機械・システム工学科	機械工学コース	2名	若干名	若干名	2名	10名
	ロボティクスコース	2名	若干名	若干名	2名	
	原子力安全工学コース	1名	若干名	若干名	1名	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	5名	若干名	若干名	5名	20名
	電気通信システム工学コース					
	情報工学コース	5名	若干名	若干名	5名	
建築・都市環境工学科		3名	若干名	若干名	7名	10名
物質・生命化学科		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
応用物理学科		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
計		18名	若干名	若干名	22名	40名



# 平成30年度福井大学工学部第3年次編入学(出願資格等)

## 推薦入試

	出願資格	出願要件
推薦共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>志望学科は、出身学校において専攻している学科・コースと同系列(注①)であること。</li> <li>他大学へ重複して推薦されておらず、合格した場合には入学を確約できる者</li> </ul>	
1. 学校推薦	高等専門学校又は短期大学(建築・都市環境工学科のみ対象)を平成30年3月卒業見込みの者	人物・学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
2. 自己推薦	高等専門学校を平成30年3月卒業見込みの者	<p>次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲がある者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 理数系科目又は志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者</li> <li>(2) “ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動チームの統率や、技術スタッフとして運営に積極的に携わった者(注①)</li> <li>(3) 修学生活における様々な諸活動において、集団の統率や、スタッフとして運営に積極的に携わった者(注②)</li> <li>(4) 本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者</li> </ul>
3. 地域貢献枠推薦	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</li> <li>(2) 大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</li> <li>(3) 大学に2年以上(休学期間は除く)在学し(平成30年3月をもって2年間に学となる者を含む。)、62単位以上(注②)を修得した者又は平成29年3月までに修得見込みの者 なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成30年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。</li> <li>(4) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</li> <li>(5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(注③)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者[学校教育法第90条(注④)に規定する者に限る。]</li> <li>(6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者(注⑤)</li> </ul>	<p>卒業後は福井県内に就職又は本学大学院工学研究科に進学し地域社会に貢献しようとする強い意欲があり、かつ、次の各号のいずれかに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者で、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めることで、地域の活性化に貢献し、その成果を社会に役立てる意欲のある者</li> <li>(2) “地域貢献”に関連した活動等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動の技術スタッフとして運営に積極的に携わった者(注③)</li> <li>(3) 本学工学部及び大学院工学研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者</li> </ul>

- 注①: 同系列と判断し難い学科・コースの場合は、出願前に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください  
機械・システム工学科へは、情報系、機械系、電気・電子系の学科から出願が可能です。  
応用物理学科の出願は、系列を問いません。
- ②: 「62単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。
- ③: 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上」です。
- ④: 「学校教育法第90条」大学に入学することのできる者は、高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)又は監督庁の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者となります。
- ⑤: 出願資格(6)によって出願する者は、出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。

- 注①: “ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等
- 自作活動: 機械・電気等を用いた工作物、設計・製図、デザイン、コンピュータプログラム
  - Webページ等デジタルコンテンツ など
  - 各種コンテスト: ロボコン、プロコン、デザコン、プレコン など
  - 各種資格・検定等: 情報処理技術者試験、デジタル技術検定 など
  - その他、“ものづくり”に関連する各種団体や学校等における取組、諸活動等
- ②: 修学生活における様々な諸活動
- 高等専門学校等における寮生会、学校祭実行委員会 など
- ③: “地域貢献”に関連した活動等
- 地域社会の支援、地域産業(工業技術等)との共同研究活動、環境保全活動、住民の生活支援などのボランティア活動

## 一般入試

	出願資格	出願要件
一般入試	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1)高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2)大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(3)大学に2年以上(休学期間は除く)在学し(平成30年3月をもって2年間在学となる者を含む。), 62単位以上(注①)を修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者            なお, 所定の単位を修得見込みの者が, 平成30年3月までに修得できなかった場合には, 合格を取り消します。</p> <p>(4)短期大学を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(5)専修学校の専門課程のうち, 文部科学大臣の定める基準(注②)を満たすものを修了した者又は平成30年3月修了見込みの者[学校教育法第90条(注③)に規定する者に限る。]</p> <p>(6)外国において, 学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者(注④)</p>	

注①: 「62単位以上」とは, 出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については, 本学部の定める基準により個々に認定します。

②: 「文部科学大臣の定める基準」とは, 「修業年限が2年以上で, かつ, 課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上」です。

③: 「学校教育法第90条」大学に入学することのできる者は, 高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)又は監督庁の定めるところにより, これと同等以上の学力があると認められた者としてします。

④: 出願資格(6)によって出願する者は, 出願資格等を確認するので, 出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ, 文書で問い合わせてください。



## 福井大学工学部第3年次編入学(選抜方法等)

### 【平成29年度】

#### 推薦入試(1. 学校推薦 及び 2. 自己推薦)

面接(口述試験を含む。)及び書類審査の結果を総合して行います。

学 科 名	学力検査科目等
全 学 科	9:00～ 面接(口述試験を含む。)

#### 一般入試

学力検査, 面接(口述試験又は口頭試問を含む。)及び書類審査の結果を総合して行います。

学 科 名	学力検査科目等		
機械工学科	9:00～10:30 数学	11:00～12:30 英語	13:30～ 面接(口述試験を含む。)
電気・電子工学科	9:00～12:00 数学, 物理	13:00～14:30 英語	15:30～ 面接(口述試験を含む。)
情報・メディア工学科	9:00～11:00 数学, 専門	12:00～ 面接(必要に応じて口頭試問を行う。)	
建築建設工学科	9:00～10:30 数学	11:00～12:30 英語	13:30～ 面接(口述試験を含む。)
知能システム工学科	9:00～10:30 数学	11:00～ 面接(口述試験を含む。)	
材料開発工学科	9:00～		
生物応用化学科	面接(口述試験を含む。)		
物理工学科	面接(口述試験を含む。)		

### 【平成30年度以降】

#### 推薦入試(1. 学校推薦, 2. 自己推薦 及び 3. 地域貢献枠 )

面接(口述試験を含む。)及び書類審査の結果を総合して行います。

学 科 名	コース名	学力検査科目等
機械・システム工学科	機械工学コース	面接(口述試験を含む。)
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース 電気通信システム工学コース	面接(口述試験を含む。)
	情報工学コース	面接(口述試験を含む。)
建築・都市環境工学科		面接(口述試験を含む。)
物質・生命化学科		面接(口述試験を含む。)
応用物理学科		面接(口述試験を含む。)

#### 一般入試

学力検査, 面接(口述試験又は口頭試問を含む。)及び書類審査の結果を総合して行います。

学 科 名	コース名	学力検査科目等
機械・システム工学科	機械工学コース	数学, 英語 <sup>※1</sup> , 面接(口述試験を含む。)
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース 電気通信システム工学コース	数学, 物理, 英語 <sup>※1</sup> , 面接(口述試験を含む。)
	情報工学コース	数学, 専門, 面接(必要に応じて口頭試問を行う。)
建築・都市環境工学科		数学, 英語, 面接(口述試験を含む。)
物質・生命化学科		面接(口述試験を含む。)
応用物理学科		面接(口述試験を含む。)

※1. 機械・システム工学科及び電気電子情報工学科(電子物性工学コース・電気通信システム工学コースの2コース)の英語はTOEICのスコアで評価します。(当日, 試験は実施しません。)